

## 4 その他の取り組み

これまでにご紹介した取り組みの他にも、東京ガスでは総合エネルギー事業の進化に資する取り組みとして、多くの事業を推進しています。その中からスマートエネルギーネットワーク、不動産事業、水素ビジネスについてご紹介します。

### 1 スマートエネルギーネットワーク

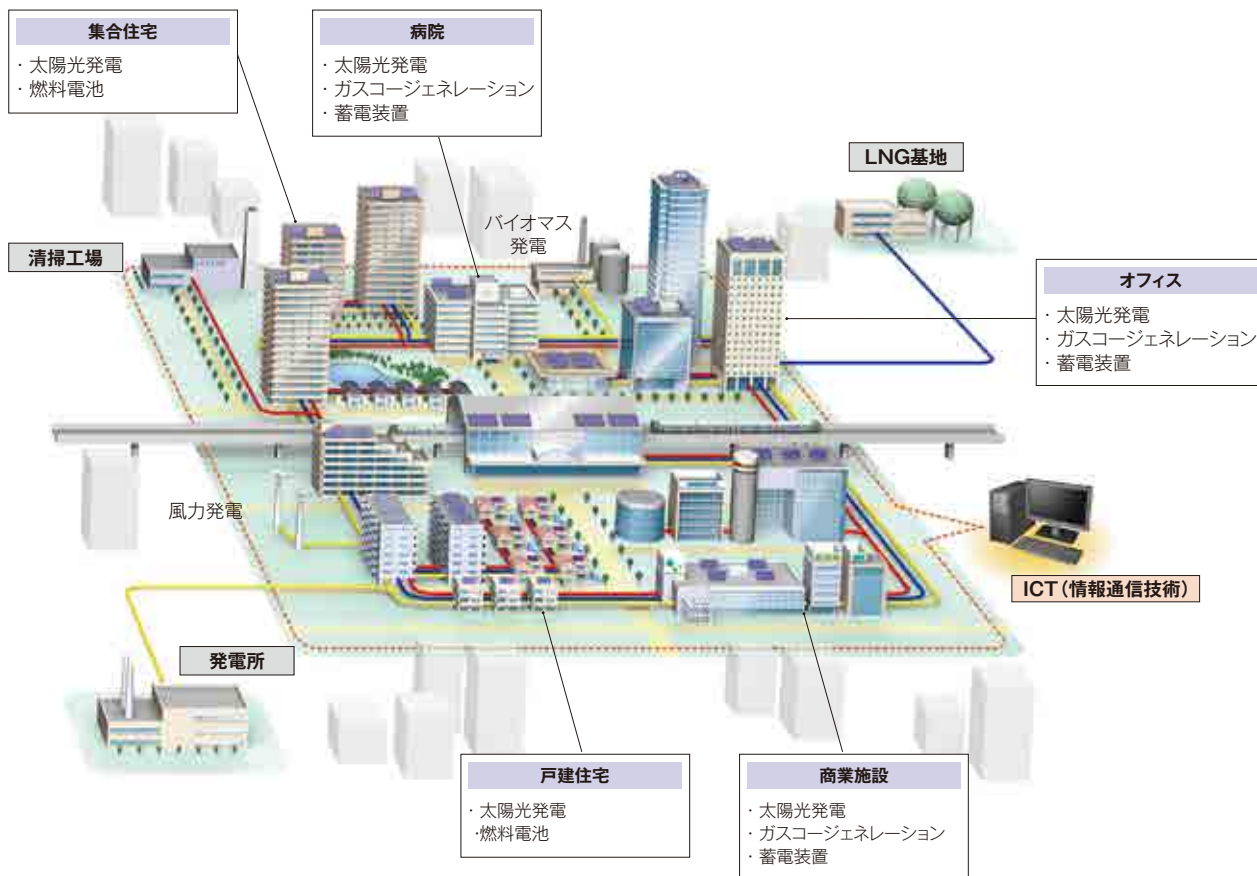
再生可能エネルギーとガスコージェネレーションシステムを組み合わせ、これをICT(情報通信技術)により最適に制御し、ネット

ワーク内で電気と熱を「面的」に利用して省エネルギーとCO<sub>2</sub>削減を実現します。

現在、行政やパートナーとの連携により、複数のプロジェクトを推進しています。

直近の取り組み事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年 7月 豊洲埠頭地区におけるスマートエネルギーセンターの建設を開始(2016年度供給開始予定)</li> <li>・2014年11月 田町駅東口北地区I街区において、日本初の新たなまちづくりにおけるスマートエネルギーネットワークを構築</li> </ul>
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田町駅北口地区におけるスマートエネルギーネットワークの拡大に向け、第2スマートエネルギーセンターの建設に着手</li> <li>・日本初となる既存街区を含むエリアのスマート化を行う「日本橋室町地域電気・熱供給プロジェクト」への事業参画に向け、事業化検討を開始</li> </ul>

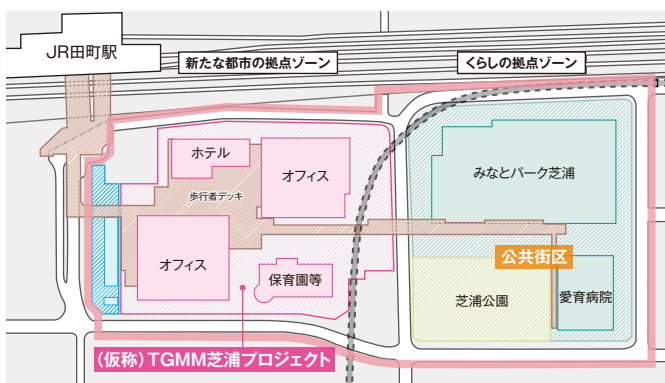
スマートエネルギーネットワークのイメージ図



## 2 不動産事業

当社は、首都圏に田町や豊洲等、ポテンシャルの高い大規模用地を保有しています。リスクを限定しながら保有不動産の開発を行い、有効活用することによって資産価値の向上を図ります。また開

発にあたっては、先進的エネルギーシステムであるスマートエネルギーネットワークを導入し、資産価値の向上を図るとともに、エネルギー事業者としての取り組みを推進していきます。



田町駅東口北地区再開発計画



豊洲地区再開発計画

## 3 水素ビジネス

ガソリン車に代わる自動車として、環境負荷が小さい水素自動車に注目が集まっています。水素自動車とは、水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使って、モーターを回して走る自動車です。当社が供給する都市ガスは主にメタン(CH<sub>4</sub>)によるため、都市ガスから水素を取り出して水素自動車の燃料とすることができます。

水素自動車普及のためには、自動車の技術革新や価格低減に加え、燃料の水素の価格低減が必要ですが、当社は安定した価格で水素を供給することを通じて水素自動車の普及を後押ししていく考えです。

2014年12月には、将来の水素利用拡大に向けた取り組みの一環として、関東初の商用水素ステーション「練馬水素ステーション」を開所し、営業を開始しました。また埼玉県さいたま市内にも水素ステーションを建設中であり、2016年3月期内の営業開始を予定しています。今後の建設については、社会情勢や水素自動車の普及状況を見ながら検討していきます。



水素自動車への充填セレモニー